

2025年度  
埼玉地区主題

主にある平和を  
形作ろう

日本基督教団関東教区

# 埼玉地区通信

2026年3月22日

発行人  
日本基督教団 関東教区 埼玉地区委員会  
委員長 栗原 清  
入間市河原町 8-6  
http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/  
印刷所 (株)シャローム

## 新年合同礼拝

埼玉地区委員会

### 一区・合同礼拝

埼玉大通り教会 稲益久仁子

埼玉新生教会を会場に、22の教会から子どもを含め91名の参加者がありました。礼拝前は、久しぶりにお顔を合わせた兄弟姉妹の挨拶など、にぎやかでしたが、礼拝の始まりの鐘が鳴ると、皆一斉に静かになり礼拝を献げました。一区は地区の中で一番人数の多い地区です。



礼拝の子どもへの説教は越谷教会の須賀工牧師、大人への説教は埼玉新生教会の平澤昇牧師です。新成人・受洗者の祈りに多くのお名前が呼ばれました。一人の受洗者が前に立ちました。祝福の祈りで励ましを受けました。聖餐式は聖学院教会の赤田直樹牧師です。厳かな司式で、聖餐の恵みに与りました。礼拝の後半から子どもたちのためのプログラムが用意されて、別室で楽しい時間を過ごしました。礼拝後は、ホールに移動して昼食の交わりの時間です。子どもも大人も交わりに加わり神さまがくださった食事の恵みに感謝しました。

会場となった埼玉新生教会の皆様には、多くのご奉仕いただきました。ことを感謝いたします。何よりも、最寄り一区の皆様が思いを新たに、教会に仕え主イエスを証しすること

### 二区・共にいる恵みを感じる

朝霞教会 鎌木 順子

とても寒い朝でした。和光市駅から右上を見ながら少し歩くと、よく晴れた空に新年合同礼拝の会場である埼玉和光教会の塔が見えてきました。(前を見てると迷いがち)

礼拝が始まり、暖かいオルガンの音色が出席者を包みます。今年18教会・伝道所から84名、子ども6名の出席がありました。

子どもへの説教は、加藤久幸先生(所沢みくに)。主イエスの少年時代のお話で、『イエスさまいるってほんとかな』のさんびかを歌いました。大人への説教は「主よ、ともに宿りませ」と題して、末永廣先生(小川)よりエマオ途上の弟子達と復活の主の聖書の場面から伺いました。

新成年、新受洗者の出席はありませんでした。栗原先生の祈りに合せ、共に覚えて祈りました。



礼拝後、豚汁とおにぎりをいただき、交わりの時を持ちました。見えない神が共に出席された方、出席できなかった方、皆に良い年となるようにと祈

りつつ、会場を後にしました。

### 三区・合同礼拝

深谷教会 佐藤 嘉哉

3区新年合同礼拝が深谷教会にて行われました。9教会・伝道所(行田、加須、熊谷、北本、本庄、深谷西島、和戸、久喜復活、深谷)から57名の信徒と子どもたちが参加し、新しい年を迎えた喜びと感謝の思いを共に覚え祈りました。司会は佐藤進教師(和戸)、子ども説教は山野裕子教師(久喜復活)、説教は疋田義也教師(本庄)によって執り行われました。また大坪園子教師(熊谷)によって聖餐式が執り行われました。力強い賛美の歌声が礼拝堂に響き、3区の教会伝道所が心を合わせる力強さを感じることができました。礼拝後には深谷教会員によるお汁粉がふるまわれ、教会員同士の交わりのひと時となったと思います。

3区はそれぞれの教会が離れているため、お会いする機会が限られてきています。しかし、久しぶりのこの再会に喜びの声が上がり、短い時間ではありましたが喜びを分かち合うことができました。様々な活動が再開しつつありますが、依然として課題は沢山あります。日々教会同士の繋がりの大切さを覚えます。



主の導きと支えがありますよう祈ります。ご奉仕くださいました教師と各教会の方々に感謝いたします。

## たね

約1年前、いのちのことは社の月刊誌「百万人の福

音 BIBLIBLE」が隔月刊行になると発表され、キリスト教出版業界の厳しい状況を感じさせられた。昨春秋、「10月28日の日本基督教団常議員会において教団出版局の事業の整理・縮小を決議」との発表があり、驚いた。さらにその後、「信徒の友」「こころの友」は、2026年度は刊行し、2027年3月号をもって休刊」と発表された。まことに残念だが、どのように文書伝道が引き継がれるか、注目している。

イエス・キリストは弟子の群である教会を世に置かれた。教会は世に属していないが、世が救われるために世に置かれている。教会は福音宣教の使命を果たすために存在している。文書伝道はその使命を果たす一つの道である。教会は発信力がなければならぬと思う。筆者の仕える西川口教会では50年以上月報を発行し続けている。労力や経済面でも、継続は容易ではないが、月報発行は「霊的筋トレ」と思っている。大変であるが、止めるのもっと大変なことになる。喜びつつ、何としても続けるのである。(金田佐久子)



### CSせいと大会報告

東所沢教会 指方 周平

10月3日(体育の日)、国立・丘陵森林公園の運動広場において、第56回CSせいと大会が開催されました。東京ドーム65個分の広さを誇る大きな公園ですが、屋外のため毎年当日まで天候が心配です。今年も前日まで予報が不安定でしたが、当日は好天となり、11教会・伝道所から56名が参加して無事に行われました。集合場所の目印はいつもの桜の樹です。なんと今年は、夏の異常な暑さの影響か、10月にもかかわらず桜が数輪咲いておりました。開会礼拝の説教者は、坂戸いずみ教会の山岡創先生。ルカによる福音書19章1〜10節より「今日、救いがここに！」と題して語ってくださいました。山岡先生はザアカイになりきり、実際に樹に登って(途中で落ちるといいうハプニングもありながら)イエスさまとの出合いを生き生きと伝えてくださいました。



礼拝でささげられた献金2

万440円は日本キリスト教団教育委員会のクリスマス献金を通して、「ウクライナ、パレスチナ、能登、北海教区アイヌ民族情報センターアイヌ奨学金キリスト教協力会、東北の友たち」へ届けられます。礼拝後は、恒例の各教会・伝道所の紹介と、ご当地クイズによる交流タイムです。今回も難問・奇問がそろいました。(例・行田教会がある行田市の名物「田んぼアート」、今年の絵柄は何でしょう? などなど) 大きなブルーシートの上でお弁当をいただいた後は、日本最大のエアートランポリン「ぼんぼこマウンテン」で元気いっぱい遊び、終盤にはせいと大会名物「だるまさんが転んだ」も行われました。



共に礼拝を守り、楽しい時間を共有する中で、普段はそれぞれの場所で礼拝をささげている私たちが、教会の頭である主イエスにあって一つにつながっている恵みを、あらためて思い巡らせる1日となりました。

### 教師一日研修会・拡大教師会・合同教師会報告

教師委員会 渡邊 典子

今回は、教師委員会が企画する3つの集会について報告いたします。

▼教師一日研修会 9月8日(月)、武蔵豊岡教会にて25教会・伝道所、26名参加。「伝道の前進のために」と題し、開会礼拝は佐藤嘉哉先生(深谷)、その後四人の先生による講演。① 崔長壽先生「東松山教会の現状と課題、秋田での伝道」、② 平澤昇先生「埼玉新生教会の働き(幼稚園、諸イベント、礼拝など)」、③ 山岡創先生「坂戸いずみ教会と青年伝道」、④ 武田真治先生「上尾合同教会の歴史、教会合同」。昼食、分団、分ち合い。異なる場に遣わされている牧師のそれぞれの賜物と神様の恵みが織りなす伝道の有り様に感動し、励まされました。

▼拡大教師会 11月25日(火)午後、飯能教会にて16教会・伝道所、16名参加。礼拝も講演も埼玉地区に新任の吉永直子先生(飯能)と金子敏明先生(越生)で行いました。講演は、金子先生の多方面での奉仕を通して、里親・賛美と祈り・学びに

励まれる証しに、神様が一人ひとりを導く恵み、召しの豊かさを覚えました。

▼合同教師会 1月26日(月)、和戸教会にて18教会・伝道所、24名参加。佐藤進先生(和戸)による開会祈禱と賛美の後、隠退された小林眞先生による講演「私の五四年の伝道・教会から」。昼食、分団、分ち合い。54年という半世紀以上の牧会を経た先生の口から発せられる言葉の一言一言には、聖書に裏付けされた確固たる重みと責任を感じました。教会に託されたことを常に聖書から正しく聴き続けることに愚直に励んでいきたいと思われされました。

▼今年度の3集会のテーマは全て「伝道」でしたが、召命は「神の国は近づいた。福音を宣べ伝えなさい」に始まることを改めて心に刻みました。感謝。



### 青年部

#### 2025年度の歩み

大宮教会 栗原 愛基

2025年度の青年部は5月9日のオンラインの集いから始動しました。ZOOMに集まった青年と、近況報告や聖書の分ち合いをしました。6月7日には坂戸いずみ教会を会場にBBQの集いを行いました(7教会18名)。食事をしたり、礼拝をする中で、青年たちの仲が深まったと感じています。7月18日のオンラインの集いでは、仕事などの都合で直接会えない方とも交流する事が出来ました。8月14日〜15日には武蔵豊岡教会を会場に1泊お泊まり会を開催しました(6教会20名)。皆で夕飯を作ったり、お風呂に入ったり、聖書の分ち合い等、楽しい2日間となりました。中には夜中まで語り合ったり、ゲームで盛り上がる姿もありました。10月17日のオンラインの集いでは、聖書を読み、分ち合いの時を持ちました。今年度もたくさんの集いを開催でき、感謝です。また、2月には冬の集いも計画中です。で、たくさんの方の参加を願っています。

### 「伝道について語る会」報告

坂戸いずみ教会 山岡 創

「あの店のラーメンは美味しいよ！ 今度、一緒に行ってみない」。私は、伝道の肝はこれだと思っている。あの教会（キリスト教）の救い（という料理）は美味しい（癒し）よ。今度、一緒に行ってみない？ そう証しできる信仰の確信を持っているなら、いつ、どこでも、機会があれば、伝道することはできる。そんな発題をさせていた



11月22日（土）、大宮教会で「伝道について語る会」が開催された。壮年部と伝道委員会のコラボ企画で、3名が発題し、グループに分かれて、懇談、分かち合いの時間を持った。参加者は22名。余談だが、私は、伝道は「語る」ものではなく「実行する」ものだと言いたい。何でもいい。やる！ やってか

ら、やり直すなり、考えればいい。

さて、発題者は壮年部委員長の市川浩さん（飯能）、青年の吉田奏さん（聖學院）、そして私。婦人女性からどなたかを立てたいと思ったが、間に合わずちよつと残念。市川さんはサラリーマン・クリスチャンの立場から、吉田さんは若者への伝道について語られた。

個人的には、吉田さんの内容がとて印象に残った。現代の若者の実情を踏まえて、では、教会は若者にとつて無用なのか？ 否！ ……そう言つて、

若者受けする教会の要素を挙げた。お金がかからない（自由）。ノルマがない。教会の役に立たなくてもいい。基本的にはみんな味方。年代、性別、考え方、色々な人がいるが自分も受け入れられ、追い出されることはない。まさに！ こんなに良いところ、ないよね…現代の教会は、この良さを認識し、アピールできるか。それができれば、教会の将来に光が射す。



### 「伝道懇談会」の報告

初雁教会 町田さとみ

11月24日（月）13時～15時、久美愛教会を会場として、伝道懇談会を開催しました。8教会・伝道所より、教師7名、信徒3名、計10名が参加しました。

始めに、開会礼拝において、神さまの御言葉を聞きました。澁谷弘祐先生（久美愛教会）が説教をされ、神さまに守られ、力づけられて歩んでいくとのお恵みを覚えられました。

懇談会は、町田牧師の司会のもと、折々に栗原清地区委員長が説明を加え、地区や教区の互助について、わかりやすく教えてくださいました。

①先ずは「今のお恵み」を分かち合いました。小規模であることの大変さだけに目を向けず、今いただいているお恵みを分かち合いました。小規模教会ながら、教会学校が持っていること。より人が入りやすい教会とするため、何ができるかを考



えていること。今の礼拝の場が、手狭になってきていることなど、元気になるお恵みに目の前が開けてきました。

②思いを形にすること。人が入りやすい教会にするために、2階の礼拝堂へのアプローチを考えて、階段に昇降機を設置しようかと考えている。あるいは、駐車場がないので、近隣の駐車場を探している。新しい教会堂を建てたいと祈り続けて、毎月会計の中から積み立てている。思いが具体的に becoming。といった、前向きな取り組みの様子をお聞きました。何よりも、「伝道する」をいつも意識し、具体的に「やってみよう」という姿に励まされました。

③「互助」に助けられながらも、「やってみよう」。色々考案しても、経済的な課題に思い悩む現実があります。地区・教区の互助支援をいただきながら、「だっだらいいな」で終わらせず、祈りながら先ずは「やってみよう」ということの大切さを覚えられました。何が優先順位かを考え、先ずはやってみることを。実践の大切さと、具体的に何が必要かを打ち出していくことこそが、次に続く一歩になると思われました。

(地区書記)

### 2・11集会

信教の自由と平和を求めると  
2・11集会  
初雁教会 町田さとみ

2月11日（水）13時～15時、大宮教会を会場として、「信教の自由と平和を求めると2・11集会」を行いました。石浜みかる氏（ブレズレン神戸集会所）より、「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」激動の時代の節目、節目に」と題して講演をいただきました。

日中戦争から第二次世界大戦の16年間に焦点を当て、日本が戦争へと進む様は今日の状況に似ていること。満州をはじめ中国・朝鮮半島に多くの日本人の村を作ったこと。1941年に日本基督教団が作られ、富田満牧師がその初代統領となる中、多くの教職（牧師）が国策と教会との狭間で苦悩した。六部・九部の教会弾圧など…。戦争一色の中で、誰もが苦闘したことを踏まえ、その中で信仰を守り続けることに





命を懸けた人たちがいたことを語られました。講演後には、参加者から「身近な人から聞いた戦争体験」を分かち合い、戦争の出来事を語り伝えなくては！との石浜氏の言葉で締めくくられました。

(地区書記)

\* \* \* \* \*

### 追悼 遠藤富寿先生

埼玉大通り教会 調 満智子

(葬儀で読まれた追悼文)

遠藤先生。まさかこのよう形で先生の前でお話しする時が来るとは、思いませんでした。広島から夫の転勤で埼玉に戻った時、広島の牧師から小さな教会で主体的に関わってしっかりとした信仰を持つようにと紹介され、イースターの礼拝に出席したのが埼玉大通り教会。先生との初めての出会いでした。もう40年近くも前のことです。当時反抗期の息子たちを抱えて暗いトンネルの中で出口が見つからずもがいていた私は、先生の説教に必死に継り付いていたと思います。奥様の喜美子さんにも助けられました。

先生は女子聖学院の教師もなさっていたので、木曜日の祈禱会は夜行われていました。「先生の聖書研究が素晴らしいからぜひいらつしやい」とある姉妹に誘われて、祈禱会などそれまで一度も出たこともなかった私が、夜の祈禱会に出かけました。そこで聖書を深く読み、祈ることの大事さを改めて教えられるました。また、金曜日は聖書を読む会で祈禱会での聖書研究とはまた違った聖書との出会いがあり、副読本からも多くの学びをいただきました。

そのようにして教会生活を送るうちに、いつの間にか私はあの暗いトンネルの中から明るい外に出ていたことに気が付きました。

教会修養会でいろんな所へ出かけましたね。軽井沢のクリスチャンセンター、西那須野のアジア学院、別所沼会館、松代大本営、日光中禅寺湖、全生園など、それぞれの場所でも多くの学びができました。狭山事件の石川さんのお宅をみんなが訪れたこともありましたね。部落

差別のこと、ハンセン病のこと、キリスト者として本当に多くのことを深く学ぶことができました。

喜美子さんが召されてから、隠退牧師となられましたが、まだまだお元気な教会でのご奉仕やボランティアもなさっていましたね。私の母がお世話になっていた施設で週に一回、軽い体操やボール遊び、童謡をみんなで歌ったりしてくださいました。教会の中での牧師としての先生とはまた違った、あの明るいお元気な姿を思い出します。

先生は隠退後、埼玉大通り教会で私たちと共に礼拝に出席なさるようになって、先生の讃美歌の歌声、主の祈りの先生の声を聞けるようになりました。遠藤先生が開拓伝道をされたこの教会で、私たちと一緒にまた礼拝を守っていらつしやる、とホッとするような思いがありました。

先生が教会を大事になさっていた反面、ご家族はさびしい思いをなさっていたのかもしれない。

そして今、先生を天に送られて、ご遺族の方々の悲しみを思います。どうか神さまからのお慰めがありますようにとお祈りします。

先生が教会を大事になさっていた反面、ご家族はさびしい思いをなさっていたのかもしれない。

そして今、先生を天に送られて、ご遺族の方々の悲しみを思います。どうか神さまからのお慰めがありますようにとお祈りします。

### 追悼 山岡 馨先生

初雁教会 町田さとみ

山岡馨先生は、2025年8月9日に、天に帰られました。91歳と9カ月の生涯でした。

馨先生は、1933年に信州の下諏訪町に生まれました。青年の時に、先にクリスチャーとなられたお姉様の影響で教会に通うようになり、下諏訪教会で受洗。その後東京に上京され、印刷会社へ就職したことを機に、淀橋教会に転会されました。小原十三司先生をはじめ多くの信仰者との交わりの中で、献身へと導かれ、東京聖書学校に入学しました。

同校卒業後、東京中野区の天門教会で補教師時代を過ごし、幸子先生と結婚されました。埼玉地区とのかかわりは、1963年1月26日に初雁教会に赴任されたことから始まります。埼玉地区では地区委員に選出され、会計等を担当。その後、1987年から1992年までの6年間、地区委員長をつと



めました。その頃の埼玉地区は、「伝道圏伝道」が盛んな頃でした。その伝道によって生まれたのが、桶川伝道所、坂戸いずみ教会、また当時は単立教会であった、今の所沢みくに教会などでした。殊に、坂戸の地に蒔かれた福音の種を育てたいと、伝道圏伝道のその後を引き継いで、坂戸伝道所を設立。その後、山岡創先生を招聘し、初雁教会の信徒20名程が坂戸伝道所へと移り、坂戸いずみ教会設立へと実を結んでいきました。

地区委員長時代には、ハレルヤ教会(1999年に解散)、志木教会、小川教会、秩父教会、越生教会等の代務者をつとめました。

関東教区では常置委員をされ、ホーリネスの群の教団認可神学校である東京聖書学校では実践神学を教え、ホーリネスの群の委員を長きにわたってなされた後、委員長を6年間つとめました。同時期に、教団の信仰職制委員をされました。50年の牧師人生を隠退し、それ以後は初雁教会の協力牧師として主任牧師の町田を支え、教会に最期まで仕えてこられました。常に教会を第一にし、イエスさまに任せ、信仰一筋に生きて「昭和一桁」の牧師の生き様は、後に続く者たちに多くの示唆を与え続けてくださいました。

地区委員会報告

2025年度第4回委員会

日時 9月9日(火)17時半より  
会場 大宮教会、出席10名

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告

①教会全体修養会

8月8日～9日に行われ、木村利人氏を講師にお招きし、94名(うち子ども6名)22教会が出席した。

②教会記録審査

8月11日(月)地区委員と教師委員とで(計12人)行った。未提出教会・伝道所は8。

③互助申請に関する件

・加須教会/教区伝道資金援助 3万円

・東松山教会/教区伝道資金援助 5万円

・久美愛教会/教団年金掛金互助 3万5640円/年

④平和を求める8・15集会

・日時と会場…8月15日(金)10時半～12時。大宮教会にて。

・講師とテーマ…横山由利亜氏(日本YMCA同盟・執行理事)。「ウクライナからの避難者は今」。

52名、20教会(伝道所の参加者があった。以上、承認した。

●主な協議事項

一、地区委員会主催集会に関する件

る件

①小規模教会・伝道所 伝道懇談会

日時 11月24日(月) 13時  
会場 久美愛教会

・開会礼拝 澁谷弘祐牧師  
・テーマ「小規模教会の伝道」の現状と展望を語り合う。

②新年合同礼拝

・今年度は3区ごとの開催とし、地区教師委員会と最寄り教師会が中心に行う。  
日時 2026年1月12日(月)10時30分～12時。

・会場 1区…埼玉新生教会  
2区…埼玉和光教会  
3区…深谷教会

③地区総合協議会

・日時と会場 2月11日(水)16時～18時、大宮教会にて。

・内容 次年度の組織と予定、会計報告と予算案について。

以上、①から③を可決した。

二、地区総会付託議案に関する件

①議案第10号…次回地区総会会場の件  
会場を武蔵豊岡教会とする。以上、可決した。

②地区総会開催に関する件  
一、地区内での教会・教師の報告  
問答報告と予定  
・飯能教会 11月5日(水)  
・久美愛教会 11月24日(月)。

二、互助申請に関する件  
①朝霞教会と日野原記念上尾栄光教会、白岡菖蒲教会より、特定規模教会負担金減免申請。

②久喜復活伝道所 地区伝道援助、看板設置、4万1800円を申請。  
以上、一から三を承認した。

●主な協議事項  
一、地区委員会主催集会に関する件

①地区総会開催に関する件  
・各奉仕者等について、四役会に付託する。

②信仰の自由を求める2・11集会  
日時と会場 2月11日(水)13時～15時、大宮教会。

・講師とテーマ…石浜みかる氏(作家)「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」  
以上、可決した。

二、クリスマスプレゼントに関する件  
隠退教師17名、8万5千円とする。以上、可決した。

●主な報告  
日時 11月11日(火)17時半より  
会場 大宮教会、出席10名

一、地区内の教会・教師の報告

問答報告と予定

・飯能教会 11月5日(水)  
・久美愛教会 11月24日(月)。

二、互助申請に関する件  
①朝霞教会と日野原記念上尾栄光教会、白岡菖蒲教会より、特定規模教会負担金減免申請。

②久喜復活伝道所 地区伝道援助、看板設置、4万1800円を申請。  
以上、一から三を承認した。

●主な協議事項

一、地区委員会主催集会に関する件  
①地区総会開催に関する件  
・各奉仕者等について、四役会に付託する。

②信仰の自由を求める2・11集会  
日時と会場 2月11日(水)13時～15時、大宮教会。

・講師とテーマ…石浜みかる氏(作家)「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」  
以上、可決した。

二、クリスマスプレゼントに関する件  
隠退教師17名、8万5千円とする。以上、可決した。

●主な協議事項  
一、地区委員会主催集会に関する件

①地区総会開催に関する件  
・各奉仕者等について、四役会に付託する。

②信仰の自由を求める2・11集会  
日時と会場 2月11日(水)13時～15時、大宮教会。

・講師とテーマ…石浜みかる氏(作家)「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」  
以上、可決した。

二、クリスマスプレゼントに関する件  
隠退教師17名、8万5千円とする。以上、可決した。

●主な協議事項  
一、地区委員会主催集会に関する件

①地区総会開催に関する件  
・各奉仕者等について、四役会に付託する。

②信仰の自由を求める2・11集会  
日時と会場 2月11日(水)13時～15時、大宮教会。

・講師とテーマ…石浜みかる氏(作家)「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」  
以上、可決した。

二、クリスマスプレゼントに関する件  
隠退教師17名、8万5千円とする。以上、可決した。

●主な協議事項  
一、地区委員会主催集会に関する件

①地区総会開催に関する件  
・各奉仕者等について、四役会に付託する。

②信仰の自由を求める2・11集会  
日時と会場 2月11日(水)13時～15時、大宮教会。

・講師とテーマ…石浜みかる氏(作家)「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」  
以上、可決した。

二、クリスマスプレゼントに関する件  
隠退教師17名、8万5千円とする。以上、可決した。

●主な協議事項  
一、地区委員会主催集会に関する件

①地区総会開催に関する件  
・各奉仕者等について、四役会に付託する。

②信仰の自由を求める2・11集会  
日時と会場 2月11日(水)13時～15時、大宮教会。

・講師とテーマ…石浜みかる氏(作家)「信仰の先輩たちの戦争期の生き方から学ぶ」  
以上、可決した。

(火)17時より。  
会場 上尾合同教会、出席10名

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告  
①小規模教会・伝道所 伝道懇談会 7教会10名が出席。

②問答報告…  
狭山教会 1月9日(水)

二、新年合同礼拝

日時…1月12日(月) 10時半～12時。以下、各最寄り区報告  
①1区…埼玉新生教会にて。子どもを含め91名、22教会(伝道所)が出席。

席上献金7万9250円。

②2区…埼玉和光教会にて、子どもを含め90名14教会(伝道所)出席。

席上献金8万2010円。

③3区…深谷教会にて。57名、9教会(伝道所)が出席。

席上献金4万3700円。

三、懇談報告…埼玉中国語伝道所、桶川伝道所の建物の借用を一年更新する旨を、11月11日(火)に取り交わした。

●主な協議事項  
一、地区委員会主催集会等に関する件

2026年度地区総会の件  
日時…3月20日(金) 9時半～15時半。

・会場…武蔵豊岡教会  
・地区総会当日の各担当者等については、四役に付託する。

①総会協議会…2月11日(水)16時～18時、大宮教会にて。  
各委員会・各部の代表者と地区委員会との協議会を行った。16名出席。

②信教の自由を求める2・11集会…28教会・伝道所、67名参加。

二、互助申請に関する件  
・教団年金掛金補助 秩父教会  
教会分2915円  
教師分2970円(月額)

・教会互助 秩父教会 96万円、以上、承認した。

●主な協議事項  
地区総会の準備会を3月16日(月)、武蔵豊岡教会で行う。以上可決した。

日時 2月13日(金)17時より  
会場 大宮教会、出席11名

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告

①総合協議会…2月11日(水)16時～18時、大宮教会にて。  
各委員会・各部の代表者と地区委員会との協議会を行った。16名出席。

②信教の自由を求める2・11集会…28教会・伝道所、67名参加。

二、互助申請に関する件  
・教団年金掛金補助 秩父教会  
教会分2915円  
教師分2970円(月額)

・教会互助 秩父教会 96万円、以上、承認した。

●主な協議事項  
地区総会の準備会を3月16日(月)、武蔵豊岡教会で行う。以上可決した。

る。以上、可決した。

2025年度第7回委員会

日時 2月13日(金)17時より  
会場 大宮教会、出席11名

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告

①総合協議会…2月11日(水)16時～18時、大宮教会にて。  
各委員会・各部の代表者と地区委員会との協議会を行った。16名出席。

②信教の自由を求める2・11集会…28教会・伝道所、67名参加。

二、互助申請に関する件  
・教団年金掛金補助 秩父教会  
教会分2915円  
教師分2970円(月額)

・教会互助 秩父教会 96万円、以上、承認した。

●主な協議事項  
地区総会の準備会を3月16日(月)、武蔵豊岡教会で行う。以上可決した。

今号は、多くの委員会活動報告を掲載でき、寄稿くださった方々に感謝いたします。次年度の埼玉地区のために祈りください。(町田さとみ)

編集後記

# 婦人部だより

No.44

## 婦人部委員長となつて

埼玉新生教会 中村 百合子

29期埼玉地区婦人部委員長の中村百合子です。どうぞよろしくお願いいたします。

今期は、全国教会婦人会連合29期(25〜26年度)の主題「キリストにある平和を共に追い求めよう―エフエソの信徒への手紙に聴きつつ―」に基づき活動を進めました。

初仕事は地区婦人部の総会(大宮教会)で、以前からの課題であった婦人部活動の見直しや、もより婦人研修会のブロック再編検討事項が話し合われました。28教会・伝道所60名の出席でした。

6月6日には、教区婦人会連合の総会(高崎教会)に出席しました。埼玉地区からは、42名の出席でした。

6月14日〜16日のアジア学院ホームステイは、3教会のファミリーで4名の学院生をお迎えできました。

同じく6月には地区婦人部全体研修会を開催し、21教会・

伝道所53名の出席がありました。アンケートのご意見を受け

て「かにた婦人の村」施設長の五十嵐逸美氏をお招きし、ご講

演いただきました。埼玉地区では、同施設を訪問している教会

もあり、長くお支えしてきま

したが、改めて《今》のかにた婦人の村の働きを知ることができ

ました。9月には教区婦人会連合の

拡大委員会(大宮教会)に出席

して、教区の方たちともお顔を

合わせることができました。関東教区宣教部委員長の飯塚拓

也牧師からもメッセージをいただきました。

9月〜11月には、もより婦人

研修会を主のお守りのうちに無事行うことが出来、感謝で

す。担当教会については続く報告文をお読みください。

もよりのブロック再編が長

年の婦人部での課題でありましたので、委員が各もより研修

会に出席して《生の声》を伺うことができました。

11月には、アジア教会婦人会

議日本委員会(ACWCJ)の一

日研修会に初めて参加しました。埼玉地区からは13教会30名の出席がありました。「キリストの癒しの平和を世界に届けよう」の主題で、在日大韓基督教会東京教会で郭恩珠師のメッセージ、そして講演は、救世軍の熊田栄一氏から救世軍の女性支援の現状をお聞き出

来ました。かにた婦人の村の女性支援と重なる内容でした。

26年世界祈禱日に関しては、ナイジェリアのテキストです。各区の担当教会に準備して

いただきました。委員長を受け継いでまず印象

的だったのは、次期委員を決めるにあたって、前委員長が大変

ご苦労されたということ。今期は44教会・伝道所、636

名の会員登録でしたが、年々会員は減少しています。会員の

高齢化と若い会員が有職であることが課題ではありますが……。

ただ、私事を言えば、数年前に埼玉新生教会に委員の要請

があった時は、当時は様々に困難な状況にあり、受けることが

できませんでした。今回は数年経ってその困難が一つひとつ

解決されて、今なら受けさせて

いただく《時》と思えました。ですから636名もの会員の

方たちの中にも、必ず受けられる《時》の方がおられることと思

### 2026年度もより婦人研修会担当教会

ブロック	2025年度	2026年度
1	久美愛教会	浦和別所教会
2	聖学院教会	七里教会
3	越谷教会	岩槻教会
4	上尾合同教会	検討中
5	武蔵豊岡教会	5・6合同 (会場は検討中)
6	志木教会	
7	本庄教会	行田教会



婦人部委員

まだ29期にあと1年以上の任期がありますが、どうぞ会員皆様お一人おひとりのご協力とご理解を切にお願いいたします。

最後に、共に委員を受けて歩みすすめてくださっている他の委員の方たち、アドバイスをいただいている町田さとみ先生に、心から感謝しております。

地区婦人部に連なるお一人おひとりに、主の祝福をお祈りしつつ。

## もより婦人会研修会

### ◆第1ブロック

久美愛教会担当

「もより婦人研修会」

矢野安喜子

10月31日(金)、久美愛教会を会場に、6教会22名の参加。

礼拝は澁谷弘祐牧師より「平和の福音」と題して説教があり、続いて「隔ての壁を取り壊して、平和を実現する一人となる」と題してワイズメンズクラブの活動を中心に講演がありました。その後、久美愛園のはっぴい工房で作ったパンとクッキーを食べながらの交わ

りで楽しく語らうことができ  
ました。澁谷牧師の着任早々の  
担当教会でしたが、奏楽の澁谷  
実季牧師と共に無事に終える  
ことができ感謝します。

### ◆第2ブロック

聖学院教会担当

#### 「もより婦人研修会」

八木 和子

世界中が争いの中、と言つて  
も過言ではない時代。9月27  
日、「父である神と主イエス・  
キリストからの恵みと平和」  
というテーマで、聖学院教会を  
会場にして、6教会31名が参加  
しました。

私たちはどのように平和を  
求めたいのか？ 今回、赤  
田直樹牧師から示されたこと。  
私たちができること、すなわち  
朝起きたら神さまからの祝福  
をいただいていることを声に  
出して確認する。そして平和の  
前にまず「恵み」をいただいで  
いることを感謝し、身の回りに  
ある小さな平和を心にかけて  
紡ぎだしていく、それが神さま  
からの真の恵みと平和の一步  
である、と教えられました。

研修会の中では、パイプオル  
ガンと共に賛美する喜びを味  
わいました。後半は、赤田先生  
によるパウロの時代の聖地の

様子を画面の説明でうかがい  
ました。  
少人数でしたが、お茶をいた  
だきながらのなごやかな秋の  
ひとときを感謝しました。

### ◆第3ブロック

越谷教会担当

#### 「もより婦人研修会」

清水 泉

11月22日に越谷教会を会場  
として、第3ブロックの6教会  
1伝道所、41名が集まりました。  
須賀工牧師による礼拝説教  
「沢山の賜物、一つの群れ」と  
須賀舞副牧師による講演「キリ  
スト教保育の現場から」光の  
子として育つ恵み」を恵み  
のうちに聞くことができました。

交流会では各教会から活動  
報告をしていただきました。最  
近の教会や婦人会での活動は、  
それぞれ教会の規模や婦人会  
の人数によってさまざまです。  
その中で、少しずつではありま  
すが、活動の変化があり、良い  
交わりの時となりました。



第5ブロックは、10月3日  
(金)に武蔵豊岡教会で開催し  
ました。7教会・伝道所30名の  
参加でした。栗原清牧師より、  
聖書の箇所(エフェソ2・14)

### ◆第4ブロック

上尾合同教会担当

#### 「平和の種を蒔く」

村上 愛

10月18日、7教会から33名  
が、上尾合同教会での研修会に  
参加しました。開会礼拝では、  
武田真治牧師から御言葉をい  
ただきました。

続く講演会は、「平和の種を  
蒔く」と題して東洋英和女学  
院宗教部長の野田美由紀牧師  
より、学生たちと過ごしてきた  
中で平和を考え、求め、実現す  
るために、真面目に聴くこと、  
考えること、学ぶことが大切で  
あると実例を通して丁寧な  
語っていただきました。

結びに自分の置かれた場で  
語れることを語り、伝えていき  
たいとの言葉に私たちも次の  
世代に届ける使命があるのだ  
と思われました。

### ◆第5ブロック

武蔵豊岡教会担当

#### 「研修と交わりの恵み」

勝田のぞみ

第5ブロックは、10月3日  
(金)に武蔵豊岡教会で開催し  
ました。7教会・伝道所30名の  
参加でした。栗原清牧師より、  
聖書の箇所(エフェソ2・14)

22)を丁寧に解き明かしてい  
ただきました。

礼拝後はスライドを用いて  
「日本メソヂスト豊岡教会と石  
川組製糸」と題して、教会の歴  
史と西洋館の役割を学びまし  
た。旧石川組製糸西洋館を見学  
した後、昼食は席をバラバラに  
座っていただき、他の教会の  
方々と良いお交わりができた  
ました。各教会のご紹介も和気あ  
いあいとして、研修とお交わり  
の恵みの時を主に感謝します。

### ◆第6ブロック

志木教会担当

#### 「生きた平和の証」

横山 勝よ

10月14日、志木教会を会場と  
して、7教会から40名が参加さ  
れました。

横山好江伝道師による礼拝  
説教。英国での体験談を通して  
「私たちこそイエス様の生きた  
平和の証」を学びました。

続く講演は、横山基生牧師に  
よりエフェソ書全体から「キリ  
ストにあつて一つ」を学びま  
した。レジメが用意されてい  
て、全体を俯瞰して理解できま  
した。

研修会後、各教会の代表者に  
よつて、5と6ブロックの統合  
について話し合いの時を持ち、

同時にバザーも行われました。  
皆さんとの交わりの時も感謝  
な時でした。

### ◆第7ブロック

本庄教会担当

#### 「主の恵みに気づかされて」

矢嶋 久子

11月8日(土)第7ブロック  
もより婦人研修会は好天に恵  
まれ、本庄教会を会場に4教会  
29名の参加で開催されました。  
礼拝説教の冒頭で、正田義也  
牧師は幸福のチェックリスト  
の話から「キリストこそが私た  
ちの平和です。ただ一方的に恵  
みとして与えられています」  
と力強く語られました。

講演は正田勝子牧師より「信  
仰共同体の中で老いを生きる  
恵み」と題して丁寧なレジメ  
を元に、年を重ねる婦人たちが  
今抱える様々な課題を恐れず  
に受容する術を示されました。  
老齢期は、「自分の存在価値や  
意義を見直す時」(being(あること  
と行動))から「being(あること  
存在)」への移行期であると学  
びました。

講演後は、3グループに分か  
れての交わりの時でした。主の  
恵みに生かされている婦人た  
ちの前向きな生き方に、励まさ  
れるひとときでした。